

経専音楽放送芸術専門学校の人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

(ミュージシャンコース)

■人材育成目的

本校は、学生が卒業3年後に「学校で身につけた音楽理論、基礎知識・技術を駆使しながら、独創性・独自性を発揮しミュージシャン・音楽家として活躍している」ことを育成目的とします。

具体的な3年後の姿は下記の通りとします。

- ①ミュージシャン・音楽家として報酬を得ている
- ②定期的にライブ活動を行っている
- ③音楽活動を続け、多くの経験を積んでいる

■教育目標

本校は、「独創性・独自性が発揮でき、プロとして活躍できる力を身につけたミュージシャンを育成する。その為に、専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導すること）することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に各専攻の修得目標を下記のように定めます。但し、社会人基礎力と高い職業意識と意欲は全専攻共通とします。

※本校の教育方針「独創性・独自性は確かな音楽理論や基礎がなければ成立しない」との考え方を反映させています。

【ミュージシャンコース ヴォーカル専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とヴォーカリストとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

ヴォーカリストとして必要な歌唱技術（リズム、メロディー、ハーモニー）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を身につけている。

【ミュージシャンコース ギター専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とギタリストとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

ギタリストとして必要な演奏技術（フォーム、コード）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を身につけている。

【ミュージシャンコース ベース専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とベーシストとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に
応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

ベーシストとして必要な演奏技術（フォーム、リズム）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を
身につけている。

【ミュージシャンコース ドラム専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とドラマーとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に
応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

ドラマーとして必要な演奏技術（フォーム、リズム）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を
身につけている。

【全専攻共通】

《社会人基礎力》の修得目標

- 現場で必要とされるコミュニケーション能力（相手の話を理解する、自分の意見を伝える）
や社会マナー（時間の厳守、挨拶、身だしなみ）を身につけている。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

- 表現力とひらめきを求め日々磨く努力をする力を身につけている。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）」
「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「独創性・独自性が発揮でき、プロとして活躍できる力を身につけたミュージシャン」として認められる学生に対して卒業を認定し専門士を授与します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及び
その他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、
下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）」についての方針

本校の教育方針「独創性・独自性は確かな音楽理論や基礎がなければ成立しない」との考えに
基づき、音楽理論、譜面の読み書き、作詞・作曲・編曲、プレイ技術の基礎を徹底的に強化し
た上で、独創性・独自性が発揮できるカリキュラムを編成します。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」及び高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己 実現に向けた意欲・力）についての方針

実践実習授業やライブ実習を取り入れ、その中で修得目標とする能力の必要性を自覚させ実
践できるカリキュラムを編成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「独創性・独自性が発揮でき、プロとして活躍できる力を身につけたミュージシャンを育成する。その為に、専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導すること）することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ミュージシャン・音楽家を目指す高い目的意識と熱意を持っている人
- 基礎・理論の重要性を理解しその力を応用・発展につなげる意欲を持っている人
- 高等学校卒業レベルの基礎学力を持つとともに、人と関わるのが好きで、コミュニケーション能力を活かせる人

このような学生を適正に選抜するために多様な選抜方法を実施します。